

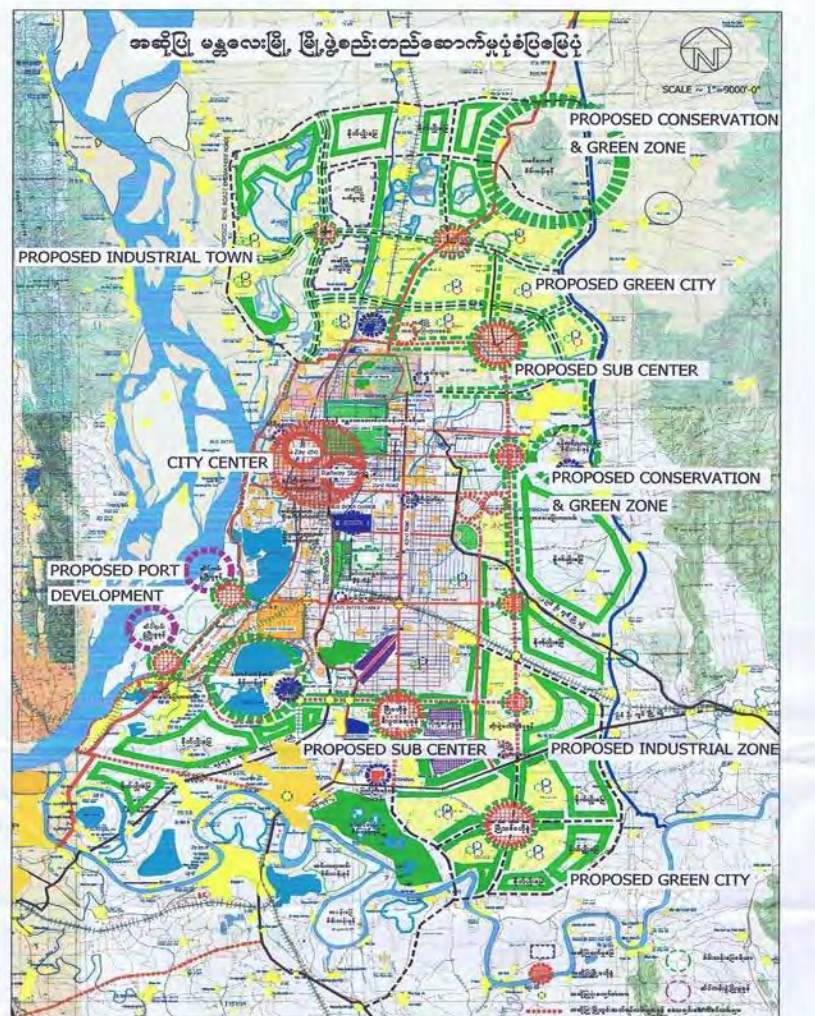
# マンダレー市概要

- マンダレーはミャンマーの第2の都市であり、最後の王朝の首都でもある。
- 人口は約130万人で、2040年までには300万人に達するだろうと予想されている。
- 重要な位置：中国とベンガル湾の間。ラオス、カンボジア、ベトナム、インドを結ぶ結節点上にある。
- 市の46% が都市、残りが農村。
- 土地不足により、住宅の不法占拠が課題となっている。



# マンダレー市の都市計画

- マンダレー市開発委員会(MCDC)により管轄されている。
- 建設省居住・住宅開発局(DHSHD) and MCDC が都市開発案を作成。
  - マンダレーは「空気が澄んだ緑豊かな文化都市となり、観光の拠点、貿易物流産業拠点、そして、ITの拠点となる。」
- 既存する地区を改善・強化し、新たな衛星都市をつくる予定。
- マンダレーの抱える課題は多くの開発途上国の都市と共通。
  - 住宅のトイレ普及率 60%
  - 給水普及率 50%
  - 廃棄物回収がすべての地区に行き届かない



Tue 2 February 2012 Monday UTM mag@monday UTM mag@MONDAY@UTMMAIL.dmg, 5/25/2015 8:13:43 PM, Brother DCP 6000CW Printer (user: Shari)



国レベル

都市のスプロール→コンパクト

都市一地域

分離 → 統合

都市間

渋滞 → 連結

近隣地域



# スマートプランニングで持続的な都市に

## 公共スペースをクオリティの高い空間に

- 50% を道路と公共スペースに
- 増強された送電網で、最小交差 80/ km<sup>2</sup>
- 地元経済を支援、連結性強化、文化、創造、未来の開発

## 適切に計画された密度

- 規模の経済と居住性
  - 少なくとも150 p/ha = 15.000 p/km<sup>2</sup>

## 土地の混合利用

- ゾーニングや、高速道路によって近隣地区を分断されるのを避ける
- 40% の床面積を経済目的使用に割り当てる
- 一つの近隣地域の中で単身者による利用を10% 以下に

## 接続性

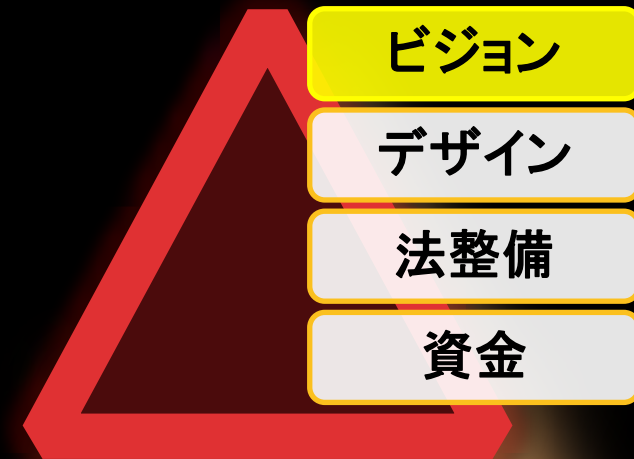
- 徒歩で可能な距離、公共交通、ICTを強調



# スマートプランニングで持続的な都市に

## 成長地域が成功する要素

- 総合空間的成長に焦点をあてた強力な公共の実施機関の必要性
  - 適正な価格で土地を取得する
  - **統一の土地所有の基準**
  - **都市-広域一帯の経済成長戦略の構築**
  - 強く決断力があるリーダーシップ
  - 遂行能力、コミュニケーションの高い専門スタッフ
  - 広範囲における公的セクターとコミュニティ・リーダーとの協働・パートナーシップの構築
- 投資の初期・中期段階における公的資金へのアクセス
- 民間デベロッパーによる関与の拡大
  - 成長エリアにおける効果的で積極的なマーケティング
  - 地域別の多様な実施体制の構築



# マンダレー： スマートでグリーンな都市に向けて

- 強固かつ効果的な法的な枠組みと規制の必要性
  - 法的枠組みが存在しない
  - 建築規制等も効果的でない
- 政府等の能力の向上、データの収集や効果的な管理・活用の必要性
- 将来起こる大規模な都市成長に備え計画する
- 計画を担う専門の機関が必要

